

中学校教科等研修講座(理科)

教科等指導員 西中学校 教諭 伊藤 克彦

担当指導主事：中田 智継

キーワード：ICT機器の利用 デジタル教科書 焦点化 共有化

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
11月15日(火)	西中学校 伊藤 克彦 教諭	西中学校 理科室 研究協議	「理科におけるデジタル教科書の 使い方」 ～授業記録からふりかえる～

2 主な内容

「デジタル教科書の使い方」

11月1日に行われた阪神中学校理科教育研究大会でのデジタル教科書を使用した授業実践をもとに、デジタル教科書の有効な使い方や効果的な見せ方について研究協議を行った。また、デジタル教科書内に出てくるマークや記号についての説明や操作を行い、デジタル教科書を使ってできる事やできない事について説明した。デジタル教科書を導入していない学校も多かったため、実際に操作を体験してもらい、使い方についても研修を行った。更に、既にデジタル教科書を導入している学校では、どのような場面でデジタル教科書を有効に活用しているかといった意見交換も行った。



3 成果と課題

(1) 成果

- ① デジタル教科書を使用することで、生徒が所持している教科書と同じ図や絵などを自由に動かしたり、図と図を重ねたりすることができ、より深い学びにすることができるとわかった。
- ② 教科書の内容を電子黒板に映したり、拡大して明示したりすることができるので、思考の焦点化・共有化に効果的であることがわかった。
- ③ デジタル教科書を導入していない学校の参加者も、デジタル教科書を実際に操作することで、その有効活用について協議し、研修を深めることができた。

(2) 課題

- ① デジタル教科書は、導入の際に費用やパソコンの設定といった準備が必要となり、すぐには難しい面もある。将来的な視点を持ち、導入準備を進めていく必要がある。
- ② デジタル教科書は、焦点化・共有化等、分かる授業づくりに大変有効である。しかし、デジタル教科書を使ったことがない教員も多いため、活用法の研究や有効性の周知を行い、デジタル教科書の活用を推進していく必要がある。